

研修会の最後にQRコードを読み取っていただきます。  
機器の準備をお願いします。

2026年度の

チームづくり  
オンライン研修会  
18:00 開会

開会までしばらくお待ちください

福岡県バスケットボール協会 U12部会



**本日の内容(資料は出欠確認後、送信します)**

**○暴言暴力、チーム内トラブルについて**

**○チーム運営の基本的な考え方**

**○特別競技ルールについて**

**○県大会の日程**

# 【これまでの経過と現状】

令和5年6月 暴言暴力事案(不起訴、ライセンス返上)

9月 暴言暴力根絶研修会

各地区で補講

令和6年3月 チームづくり研修会開始

運営方針・規約の見直し

チーム内パワーバランス確認

※責任者・コーチ・コンプライアンス担当者

令和6年9月 ライセンス停止処分3名

令和7年5月 ライセンス停止処分1名

8月 ライセンス停止処分1名

# 【今回行った処分】

【JBA倫理規定にもとづき今回行った懲罰2件】

- ①コーチによる暴言・暴力:ライセンス停止10カ月
- ②コーチによる暴言・暴力:ライセンス停止10カ月

## 【問題点】 コーチだけでなく保護者の協力もお願いします

- 被害を受けている保護者からの相談・通報で発覚
- その場で暴言暴力行為を止めたり事後に行為を問題視したりする動きがほとんどない

※同じようなことを学校の先生がしたとしたら・・・？

- 適切なチーム運営ができていない場合が多い
  - ・規約、運営方針が整備されていない、役割が不明確、個人で対応し組織的な動きとなっていない
  - ・チーム内で情報が共有されていない

# 【今回行った処分】

【JBA倫理規定にもとづき今回行った懲罰2件】

①コーチによる暴言・暴力:ライセンス停止10カ月

②コーチによる暴言・暴力:ライセンス停止10カ月

○今後寄せられる連絡・相談については、  
調査・事実認定・懲罰の検討を積極的に行う

調査をする場合は証拠となる動画、音声などの記録が必要です

**指導資格停止にあたる**

**事案であることの理解が不足**

**子供たちの人生に  
トラウマを残すこと**

**バスケット嫌いを生み出すこと**

大きなことが起こると  
(皆さんの周囲の)  
バスケの価値が毀損される

1. 指導者が避けるべき行動
2. 指導者に期待される行動
3. 処分基準と事例

## 指導者の不適切なコトバ（1）

- **質問形式で問い詰める**（答えようがない）  
「何回言われたら分かるの？」  
「どうしてそういうことするの？」  
「ねえ、何やってるの？」  
「誰に向かってそんな口のきき方をするんだ？」

【川上康則 2022 教室マルチリートメント, 東洋館出版社, p.35 引用】

## 指導者の不適切なコトバ（2）

- **本当の意図を語らず、裏を読ませようとする**（指導者の思い通りに動かそうとする）  
「やる気がないなら、やらなくていい」  
「もう勝手にすれば」  
「好きにすればいいじゃん」  
→ 「やりなさい」「勝手は許さない」

【川上康則 2022 教室マルチリートメント, 東洋館出版社, p.35 引用・改変】

## 指導者の不適切なコトバ（3）

- **脅して動かそうとする**（脅迫・威嚇）  
「早くしないと、〇〇させないから」  
「じゃあ、〇〇できなくなるけどいいんだね」  
「もうみんなとは〇〇させられない」

【川上康則 2022 教室マルチリートメント, 東洋館出版社, p.35 引用】

## 指導者の不適切なコトバ（4）

- **虎の威を借る**（だから、やっちゃいけないよ）  
「お母さんに言うよ」  
「お父さんを呼ぶよ」  
「〇〇コーチに怒ってもらうからね」

【川上康則 2022 教室マルチリートメント, 東洋館出版社, p.36 引用・改変】

## 指導者の不適切なコトバ（5）

- **下級生と比較する**（侮辱、軽視、バカにする）  
「そんなこと1年生もやりません」  
「そんな子は1年生からやり直してください」  
「幼稚園に戻りたい？」

【川上康則 2022 教室マルチリートメント、東洋館出版社、p.36 引用】

## 指導者の不適切なコトバ（6）

- **指導者側に責任がないことを強調する**  
「ダメって言ったよね」  
「もうやらないはずだったよね」  
「さっき約束したばかりだよ」

【川上康則 2022 教室マルチリートメント、東洋館出版社、p.36 引用】

## 指導者の不適切なコトバ（7）

- **見捨てる**（無視、放置、ネグレクト）  
「じゃあ、もういい」  
「さよなら」  
「バイバイ」

【川上康則 2022 教室マルチリートメント、東洋館出版社、p.37 引用】

## 指導者の不適切なオコナイ(1)

### □ 高圧的な指導、大声で怒鳴る

指導者の過度な期待に、子どもを無理矢理に応えさせようとしていないか。

成果が実現しない焦りから、高圧的に迫り、子どもが指導者の顔色ばかりをうかがっていないか。威圧によって、子どもをコントロールしようとしていないか。

【川上康則 2022 教室マルチリートメント, 東洋館出版社, p.16-37参考】

## 指導者の不適切なオコナイ(3)

### □ こどもを放置する(無視する)

一生懸命、指導者にアピールしてきているのに、その子どもを無視していないか。

子どもの積極性や努力を「正しく評価されていない」という気持ちは、こころを燻らせ、指導者への不信感を募らせる。その場の流れに合わないからといって無視してはイケナイ。

【川上康則 2022 教室マルチリートメント, 東洋館出版社, p.40 要約引用】

## 指導者の不適切なオコナイ(2)

### □ 目を合わせない、笑いかけない

一度も言葉を交わさずに、一日を過ごしてしまうような子どもはいないか。

指導者は、限られた時間の中で「心の安全地帯」となっているか。目を合わせ、笑いかけることで、「見ているよ」「大丈夫だよ」という安心感を子どもに与えているか。

【川上康則 2022 教室マルチリートメント, 東洋館出版社, p.39 要約引用】

## 指導者の不適切なオコナイ(4)

### □ 正当な理由もなく参加させない、一方的に練習から排除する

「上手くできないなら見ていなさい」と伝えるのは「指導者としての役割の放棄」や「子どもの排除」を意味する。

苦手さを理解し、スモールステップで子どもに自信を持たせてあげることが肝心である。

【川上康則 2022 教室マルチリートメント, 東洋館出版社, p.42 要約引用】

## 指導者の不適切なオコナイ(5)

- **必要な賞賛をしない、成長を価値づけけない**

「よく頑張ったね」と子どもの努力を認め、「できたね！よくやった！」と子どもを賞賛することはとても大切である。

子どもの成長に関心を抱く一方、励ましなどの適切な言葉がけを放棄してはイケナイ。

【川上康則 2022 教室マルチリートメント, 東洋館出版社, p.42-43 要約引用】

## 指導者の不適切なオコナイ(6)

- **必要な情報の提供や共有を怠る**

子どもについての悩みや苦勞を他者と共有しないことは「可能性の放棄」にもつながる。

「自分には自分のやり方がある」は諸刃の剣。確かに、それが功を奏することもあるが、「こどもとの関わり」は社会的な営みであり、「独善的」「独裁的」であってはならない。

【川上康則 2022 教室マルチリートメント, 東洋館出版社, p.43-44 要約引用】

## 指導者の不適切なオコナイ(7)

- **子どもの気持ちや心理的な危機に気づけていない**

「本来怠ってはいけない危険の察知ができていない」ことも大きな問題である。

危険を放置すること、例えば、熱中症が危惧される中で水分補給を怠ったり、いじめを放置することも絶対にあってはならない。

【川上康則 2022 教室マルチリートメント, 東洋館出版社, p.45 参考・引用】



主体的な探索

### 健全な『絆』を深めていく

- 子どもを指導すると同時に、子供からも学ぶという姿勢を有する(相互性)
- 『やる気』を引き出す(動機づけ)
- 押付けるのではなく、子どもと一緒にあって価値観・文化を作り上げていく

### アタッチメントのつくり方

- 目を合わせる
- 笑いかける
- 語りかける
- 触れ合う
- 感謝を伝える
- 努力や過程を認める



自分のことを  
気にかけてくれている  
↓  
自分のことを  
分かってくれている  
↓  
安心して  
挑戦することができる

### 自己を振り返り、改善し続ける！

- 見直すべきは、自分自身だと理解する
  - 頭で理解できたとしても、腑に落ちない
  - 例え、腑に落ちたとしても、行動できない
  - 行動できても、不器用でうまくいかない
- ↓
- 常に自己反省に基づき、体質改善を目指す

【バスケットボールの価値をみんなで高める！】

バスケットボールに取り組むと…、

「技術だけでなく人間として成長できる！」

## ＜スポーツマンシップ＞

勝ち負けを超えて、スポーツを通じて人として

大切にしたい態度やふるまい

○リスペクト（相手・審判・仲間・観客への敬意）

○フェアプレー（正々堂々と戦う姿勢）

○セルフコントロール（感情や行動を律する）



# 【バスケットボールの価値をみんなで高める！】

バスケットボールに取り組むと…、

## 「技術だけでなく人間として成長できる！」

### ＜スポーツマンシップ＞

勝ち負けを超えて、スポーツを通じて人として大切にしたい態度やふるまい

- リスペクト
- フェアプレー
- セルフコントロール

意図的に育てようとする  
コーチや保護者が必要



## 大人が行動を示してあげよう：リスペクトを伸ばす例

**「相手選手がうまくプレーした時は、ちゃんと拍手しようね。みんなでリスペクトしよう」**

→ 相手のプレーを称賛する重要性を伝えます。

**「審判の人もゲームを公正に進めるためにがんばっているんだよ。感謝の気持ちを忘れずに」**

→ 審判へのリスペクトを教える。

**「チームメイトがミスしても、声をかけて励まし合おう。みんなで助け合っこそ強くなるんだよ」**

→ チーム内のリスペクトとサポートの重要性を伝える。

**「試合中でも、お互いの考えをしっかり聞いてから行動しようね」**

→ コミュニケーションの大切さと尊重を教える。

**「相手チームが辛いとき、あなたがどんな言葉をかけるかが大事だよ。優しさを忘れないでね」**

→ 相手への思いやりとリスペクトを育てます。

**「失敗しても、無理に責めたりしないで。みんな一緒に成長するんだよ」**

→ 失敗から学ぶことと、リスペクトに基づくフィードバックを伝える。

**「相手のルールを守る姿勢にもリスペクトが必要だよ。正々堂々と戦おうね」**

→ ルールや公正さに対するリスペクトを教える。

**「君が試合に出ているときも、ベンチの仲間に感謝の気持ちを持ってプレーしよう」**

→ チーム全体に対するリスペクトと協力の重要性を伝える。

**「プレーの後は必ずお礼を言おうね。ありがとうを伝えることで、みんなが気持ちよくなるんだよ」**

→ 礼儀や感謝の気持ちを育てます。

**「君がどんな結果になっても、相手を尊重する姿勢を見せることが、もっと素晴らしい選手への道だよ」**

→ 勝敗に関係なく、リスペクトを持つことの大切さを教える。

## 大人が行動を示してあげよう：フェアプレー精神を伸ばす例

**「相手も一生けんめいなんだよ。だからこそ、全力でプレーしよう！」**

→ 互いをリスペクトする姿勢を育てます。

**「ルールを守ってこそ、ほんとうにカッコいい選手だよ！」**

→ ルールの重要性とフェアの価値を伝えます。

**「ナイスプレー！でも相手のいいプレーにも拍手できるのはすばらしいよ」**

→ スポーツマンシップを言葉で褒める例。

**「勝ってもうれしいけど、ズルして勝っても楽しくないよね」**

→ フェアプレーの意味を内省させます。

**「失敗してもいい。正々堂々とやることがいちばん大事なんだよ」**

→ 勝敗よりも過程の大切さを伝える声かけ。

**「あいさつがきちんとできる人は、コートの中でも信頼されるよ」**

→ 礼儀がプレーにもつながると伝える。

**「今日は最後まであきらめずにがんばってて、すごくよかった！」**

→ 全力を尽くしたことを具体的に認める。

**「相手をバカにしたり、悪口を言うのはカッコ悪いよ。仲間でも相手でも大事にしよう」**

→ 言動のフェアさを教える。

**「審判の人も一生けんめいなんだ。間違えても怒らずに受け止めよう」**

→ 審判へのリスペクトを育てます。

**「チーム全員で助け合ってがんばることが、いちばんすてきな勝ち方だよ」**

→ 協力・連帯の大切さとフェアプレーの関係を伝える。

# U12カテゴリー「指導行動の指針」

JBA U12カテゴリー部会

U12カテゴリーから「暴言・暴力」を根絶し、子どもたちが「楽しく」プレーできる環境をつくるため、指導者の皆さんには「指導行動の指針」として、つぎのことを意識して、指導に当たっていただきたいと思います。

## <やってほしいこと>

- ・ はげます
- ・ 元気づける
- ・ 委ねる
- ・ 引きだす・導く
- ・ 判断させる
- ・ 主体性を育てる



## <やってほしくないこと>

- ・ 怒る
- ・ 怒鳴りつける
- ・ 指示ばかりする
- ・ 威圧する
- ・ 判断させない
- ・ 支配する



みなさんの指導は  
どうですか？

U12 世代のプレーヤーたちへ  
楽しみながら競技力を向上させる

## U12 カテゴリー指導ガイドライン



【指導育成ガイドライン: JBAホームページ】

日本協会ホームページ

U12指導ガイドライン

保護者の方もぜひ読んでいただき、自チームの  
コーチングをチェックください

# 【チーム運営について】

## 社会体育の理念にもとづくクラブチーム運営

1 チーム内に以下の担当者を必ず置く

- ・責任者
- ・コンプライアンス担当
- ・コーチ
- ・審判(兼任可)

2 運営のための**規約・運営方針**を策定し、それに基づいたチーム運営を行う(ひな型はHP上にあります)

自分たちのチームはどのようなチームなのか、全員と共有できているか？  
(コーチ任せになっていないか)

# 【チーム運営について】

- 1 責任者** ※チーム内の連絡責任者ではない  
チームの運営に関する統括・コーディネート  
運営方針, 規約にもとづいてチームを運営(声掛け)
- 2 コンプライアンス担当**  
チーム内における法令順守の機運を高める  
コーチの言動をチェック, フィードバックする
- 3 コーチ・アシスタントコーチ**  
JBA U12指導ガイドラインにもとづいた  
コーチングを行う

三者のパワーバランスが重要

# 【チーム運営について】

- 協会はコーチライセンスを付与している
- JBAの諸規定に違反した場合は対応する
- コーチの任命権者は「チーム」
- チーム内で起きるコーチの暴言暴力については、規約等にもとづいてチームで解決を図る
- いじめ、保護者間のトラブルなども、規約等にもとづいてチーム内で解決を図る

# 【チームづくりの条件】

- 1 責任者、コンプライアンス担当、コーチを選任する  
(兼任は不可)
- 2 規約を地区へ提出する
  - ・3者の担当者の名前が記載されているか
  - ・問題が発生した際の対応手順が記載されているか
- 3 チーム運営方針を地区へ提出する
  - ・チームの目標や基本姿勢について、選手とその保護者の理解を深める

地区の承認がなければJBAの登録はできません

# 【TEAM JBAでの登録】

- 規約・運営方針は**地区へ提出**して、確認を受けてください→提出先は、地区から連絡があります
- 地区の承認後**、TEAM JBAで登録を行ってください
- 地区担当者から指示があるまでは絶対に登録作業を行わないでください

# 【特別競技ルール】(同時に楽しめる環境づくりも)

○全国大会において特別競技ルールが採用されることに伴い、県大会においても特別競技ルールを採用します

採用する特別競技ルール(全国大会予選県大会)

**「3ポイント」**(競技規則外運用細則)

※今後、競技規則が変更される予定はありません

※地区・地域大会で採用するかどうかは各地区で検討します

## 【その他】

○カップ戦などの私的な大会について

- ・参加費やTシャツなどの強制購入など、費用については説明がつく適切な金額で
- ・決算書を配付することが望ましい

○令和9年度から各チーム1名はD級ライセンスのコーチがいること

# 【県大会日程】

## ○やずやカップ

8月8日(土)・9日(日)

## ○全国大会予選

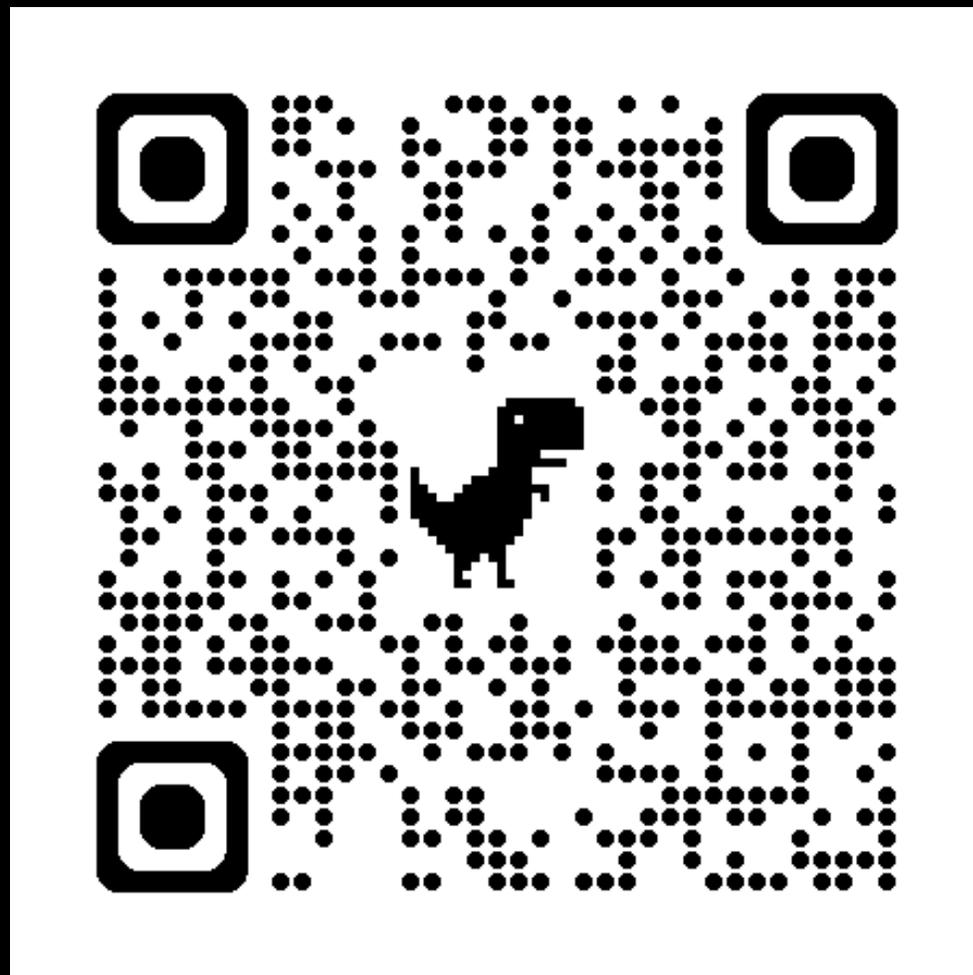
12月5日(土)・6日(日):予選リーグ

1月9日(土)・10日(日):決勝トーナメント

## 【終わりに】

○ご質問, ご意見, 相談は  
まず, **各地区担当者**  
または, 県協会事務局へ

# 【出欠確認フォーム】



男女別でチーム1名が、この後すぐフォームで回答

